

第72回銀杏祭 総括
および
第18回ふたば祭 第1回総会

令和5年 1月19日(木)

大阪公立大学杉本キャンパス大学祭実行委員会

進行表

1. 第72回銀杏祭 全体総括
2. 第72回銀杏祭 収支決算報告
3. 第72回銀杏祭 企画局総括
4. 第72回銀杏祭 情報宣伝局総括
5. 第18回ふたば祭 人事承認
6. 委員長あいさつ
7. 諸連絡



第72回銀杏祭 全体総括

第72代委員長 平瀬暁人

1. 第72回銀杏祭 全体総括

(1) 日程

令和4年 11月3日(木)～11月5日(土)

大阪公立大学杉本キャンパス旧教養地区にて3日間開催



1. 第72回銀杏祭 全体総括

(2) テーマ

「シン・ギンナンサイ」

このテーマには、大阪公立大学としての初めての銀杏祭を、今までの良かった要素を取り入れつつも、革新的なものにしていくという思いが込められている。



1. 第72回銀杏祭 全体総括

(3) 予算

- 前年度の大学祭は規模が縮小して行われたため、繰越予算が多く残っていた。
- しかし、統合後の自治会費(旧新入生協賛金)の集まりが悪かったため、第72回銀杏祭では、来年度の新入生が魅力的に思う大学祭作りに務め、コロナ以前の学祭規模での開催を目指した。



1. 第72回銀杏祭 全体総括

(3) 予算

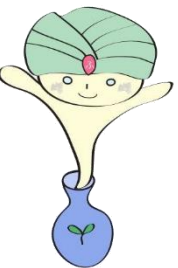
- 予算自体は大きくなったが、支出は予算以下に抑えられた。
- コロナ以前と現在では、収入が大きく減少しているため、統合後の運営費の集め方を改めて考えていく必要がある。



1. 第72回銀杏祭 全体総括

(4) 企画

- 4つのステージ（旧体育館ステージ、8号館ステージ、大音練ステージ、暁ステージ）を設けた。
- 旧体育館ステージ、8号館ステージ、大音練ステージでは、文化系サークルの発表などを中心により多くの来場者の方々に楽しんでもらえるようなステージ作りを目指した。



1. 第72回銀杏祭 全体総括

(4) 企画

- 上記のステージでは、サークルの発表とは別に渉外企画（Ginnan Rock Festival , 芸人企画 , MONTOBA）も行った。それぞれ多くの観客が集まり、非常に盛り上がる企画となった。
- 暁ステージでは様々なジャンルに対応できるようなステージ作りを心がけ、多くの学生による出演やステージの参加もしてもらえた。



1. 第72回銀杏祭 全体総括

(4) 企画

- 例年通り、課外活動団体による展示や販売等の教室企画も行い、課外活動の発表、活動の場を提供できた。
- コロナ禍以降初めての飲食模擬店を実施した。多くの団体の出店により、学内者及び学外の方が多く集まり盛況であった。



1. 第72回銀杏祭 全体総括

(5) 情報宣伝

- 看板に使用している木材の老朽化とキャンパス内の工事の関係により、看板等の設置数は例年と比べると減少した。
- ふたば祭と同様に今回も紙媒体とデジタルの2種類のパンフレットを用意することで、予算を削減しつつできるだけ多くの方に配布できるようにした。



1. 第72回銀杏祭 全体総括

(6) 外務

- パンフレットに関しては、デジタル化の影響もあり、携帯電話で閲覧することを意識してデザインした。フォント等もこだわりを持って制作を行った。
- ホームページに関しては、銀杏祭に関する資料をダウンロードできるように随時更新した。さらに各渉外企画のtwitterアカウントおよびホームページも作成、更新し様々な方面から情報を届けた。



1. 第72回銀杏祭 全体総括

(7) まとめ

- 執行部を中心に企画、情報宣伝の2つの局を作り、その他に事務、協賛、施工、パンフレット、HPの計5つ専門職を置き運営した。
- 今年の銀杏祭は新型コロナウイルスが落ち着いてきたおかげで以前に行っていた渉外企画や模擬店を実施することが出来た。さらに一般の方の来場できるようにし、多くの方が楽しめる学祭作りを心掛けた。旧教養地区の工事により、動線をどのように確保するのが一番の課題であった。



第72回銀杏祭 収支決算報告

第72代会計担当 奥長千尋

2. 第72回銀杏祭 収支決算報告

【収入】

第17回ふたば祭からの繰り越し	¥ 6,013,809
教育後援会・校友会	¥ 600,000
決算利息	¥ 26
企業・地域協賛金	¥ 179,355
大学祭運営費(出店・出展団体協賛金)	¥ 1,000,152
収入合計	¥ 7,793,342



2. 第72回銀杏祭 収支決算報告

【支出】

企画準備費	¥ 3,369,389
情報宣伝費	¥ 59,424
事務費	¥ 466,580
施工費	¥ 58,805
パンフレット印刷費	¥ 215,995
その他	¥ 790,702
支出小計	¥ 4,962,175
2023年度会計繰越金	¥ 2,831,167



2. 2022年大学祭 行事援助金決算報告

【執行支出】

施工費	¥199,816
発電機費	¥264,880
照明費	¥103,400
情報宣伝費	¥129,520
消耗品購入費	¥81,050
執行支出合計	¥778,666



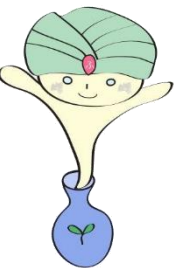
第72回銀杏祭 企画局総括

第72代企画局長 大原悠人

3. 第72回銀杏祭 企画局総括

(1) 意義

- 第72回銀杏祭にて行われるステージ企画、クラブ・サークルによるステージ発表、キャンパス内の空きスペースを使ったその他全ての企画を企画・管理・運営する。
- 本学の学生を始め、幅広い客層のニーズに応え、より多くの人々が銀杏祭に参加したいと思えるようにするための一端を担い、銀杏祭に参加した全ての人々に満足してもらおう。



3. 第72回銀杏祭 企画局総括

(2) 運営:企画局の構成

- ・企画局長(1名)
全体総括、局員管理、企画ハード面の
構想・決定、学内団体との連絡、企画予
算の決定、他局との連絡
- ・企画管理者(1名)
企画担当者の管理・補助、物品や備品の管理、企画ハード面の構
想・決定、外部団体や協賛企業等との連絡、企画予算の決定、企画
ソフト面の構想・管理・運営、他局との連絡
- ・企画担当者(10名)
各企画ソフト面の構想・管理・運営



3. 第72回銀杏祭 企画局総括

(2) 全体を通して

- 3つのステージ(メインステージ、8号館ステージ、暁ステージ)を設け、メインステージと8号館ステージでは、芸人などのゲスト企画やサークルの発表などを中心により多くの来場者の方々に楽しんでもらえるようなステージ作りを目指した。
- 暁ステージでは様々なジャンルに対応できるようなステージ作りを心がけ、多くの学生による出演やステージへの参加もしてもらえた。



3. 第72回銀杏祭 企画局総括

(3) 全体を通して

- 他、特別企画として銀杏祭のメイン企画であるGINNAN ROCK FESTIVALをメインステージにて入場料無料での開催、MONTOKA企画など、3日間を通して老若男女様々な方に楽しんでいただけるような企画設計をすることができた。
- 例年同様学内のサークルや部の活動を知ってもらうために、教室企画という場も設けた。



第72回銀杏祭 情報宣伝局総括

第72代情報宣伝局長 植田真央

4. 第72回銀杏祭 情報宣伝局総括

(1) 意義

- 第72回銀杏祭の開催とそれに伴う各情報を、主に全学生徒に向けて告知・宣伝する。
- 当日はステージをはじめとして学内を装飾し来場者を視覚的に楽しませる、学祭の雰囲気づくりをする。
- 会場内の誘導の役割を持たせることにより、大学祭をより楽しみやすくなる環境を提供する。



4. 第72回銀杏祭 情報宣伝局総括

(2-1) 活動: 銀杏祭に関する告知・宣伝

- 10月上旬に、第72回銀杏祭開催を告知する看板を下記の場所に設置した。
 - 旧教養地区正門前
 - 生活科学部棟北側南部ストリート門横
 - 生活科学部棟東側けやき通り



4. 第72回銀杏祭 情報宣伝局総括

(2-2) 活動: 銀杏祭の内容に関する情報宣伝

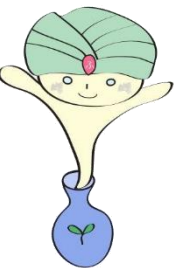
- 情報宣伝のために制作した宣伝物は以下の通りである。
 - ・企画紹介看板: ステージ等における企画の紹介・告知
 - ・ステージタイムテーブル看板: ステージのタイムテーブルの紹介・告知



4. 第72回銀杏祭 情報宣伝局総括

(2-3) 活動: 銀杏祭当日の設置物

- 第72回銀杏祭期間中に、以下の製作物を設置した。
 - 旧教養地区正門装飾
 - メインステージ装飾
 - 会場外誘導装飾
 - 会場内誘導装飾
 - 当日企画紹介看板
 - 8号館階段装飾
 - 暁ステージ装飾
 - 大音練ステージ装飾
 - 模擬店マップ



4. 第72回銀杏祭 情報宣伝局総括

(3) 総括

- 第71回銀杏祭に引き続き、コロナの影響による準備期間の制限により、製作物を例年よりも少なくした。また、キャンパス内工事の関係により、看板の種類や設置場所に変更が生じた。
- 一方で、コロナの影響による活動制限が緩和されたことを受けて、第69回銀杏祭以前に設置していた製作物を復活させた。具体的には以下の通りである。
 - 渉外企画（芸人ステージ、GRFなど）が復活したことを受け、会場内に渉外企画紹介看板を設置した。
 - 模擬店企画が復活したことを受け、会場内に模擬店マップを設置した。



4. 第72回銀杏祭 情報宣伝局総括

(3) 総括

- 全体としては、学内者および学外者への視覚的な情報提供の役割を果たしつつ、大学祭当日の盛況に繋げることができたと思う。
- 一方で、第72回銀杏祭では学外者の入場も可能としたため会場内の構造を知らない来場者も多く、特に出口や飲食スペースへの誘導が不十分であったことが反省点である。来年度はさらにスムーズな誘導ができるよう改善を図っていく。



5. 第18回ふたば祭人事承認

執行部 委員長 川原匡平

副委員長 谷崎陽友冴 山東美心

企画局 局長 滝本萌子

局員 川西百穂 池田学翔 田中実祈

岩淵葵 乾日香里

情報宣伝局 局長 酒見達也

局員 谷遥伽 加茂優梨子 中島優衣

須山遊 野田崇心 北川堅大

岡田ゆめ 田村綸子

6. 委員長あいさつ

第73代委員長 川原匡平

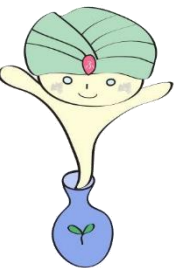
テーマ発表

「このめどき」

春の季語

『さまざまな木が芽吹く時期』

これからの新入生、新しく生まれ変わった大学全体が
大樹のように成長して欲しい



第18回ふたば祭 テーマロゴ



7. 諸連絡

第2回総会 2月10日(金)420教室

13:30~15:00 体育会団体

16:00~17:30 文化系団体

- ・コロナの感染拡大状況によって、今回と同様にオンラインでの開催となる可能性があります。その場合はSlackにて連絡しますので、随時確認お願い致します。
- ・必ず、各団体の代表者の方をご参加ください。
- ・欠席する場合は、info@ginnansai.jpに連絡をお願い致します。



7. 諸連絡

第二回総会にあたって考えておいていただきたいこと

①模擬店

出店品目、店舗名、使用する食材、調理手順、模擬店出店ができなくなった場合に教室企画の出展を希望するか

(後日ホームページに掲載する模擬店マニュアルを参考にして出店品目を検討してください。)

②教室企画

企画タイトル、内容、必要備品(電力を必要とするものは必要電力も)、机椅子の移動が可能な教室を希望するか、60字以内の企画紹介文について

③ステージ出演

企画タイトル、所要時間、ステージ場所希望(8号館ステージ、旧体ステージ、大音連ステージ)

※模擬店、教室企画の両方への出展はできません。

模擬店の抽選に外れた場合は教室企画への振り替え出展が可能です。